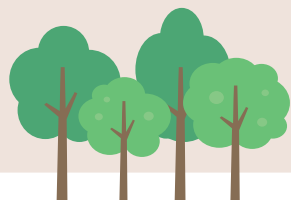


# 地球温暖化対策実行計画

(区域施策編) 概要版 (素案)

令和8年1月

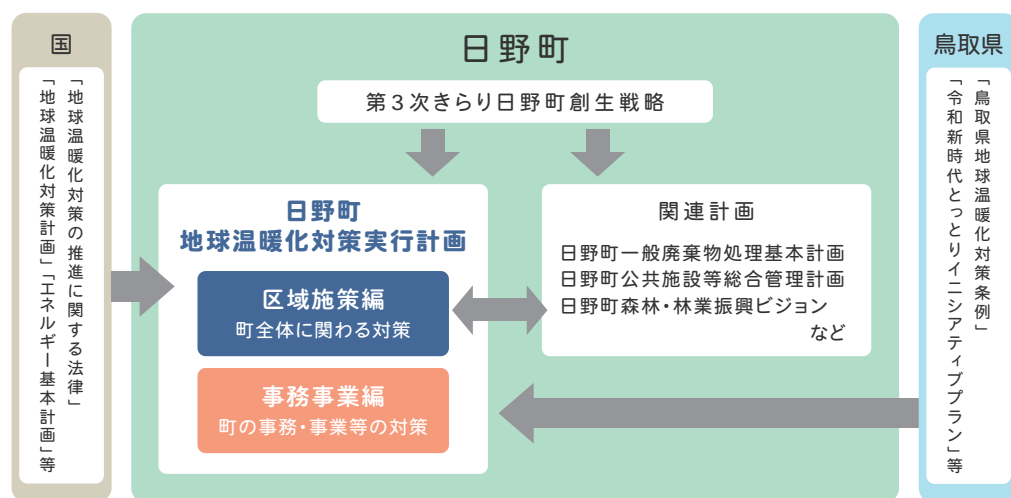


## 計画の目的

「日野町地球温暖化対策実行計画(区域施策編)」(以下「本計画」という。)は、日野町内から排出される温室効果ガスの状況を捉え、その量を削減する目標を定め、住民・事業者・町のそれぞれが率先して地球温暖化対策の取組みを推進することを目的とします。本計画は、「地球温暖化対策の推進に関する法律」第21条第4項の規定による地方公共団体実行計画として策定します。

## 計画の位置づけ

本計画は、本町の最上位計画である「第3次きらり日野町創生戦略」と整合を図るとともに、国や鳥取県の計画及び本町の各種関連計画と整合・連携を図り、総合的に進めていくものとします。



## 計画の期間

本計画の計画期間は、2026(令和8)年度から2030(令和12)年度までの5年間とし、2013(平成25)年度を基準年度、長期ビジョンとして2050年ゼロカーボンシティを目指し、短期目標年度を2030(令和12)年度、中期目標年度を2035(令和17)年度、長期目標年度を2040(令和22)年度と設定します。

- 対象とする範囲 本町全域（住民・事業者・町のすべてを対象）
- 対象とする温室効果ガス 二酸化炭素（CO<sub>2</sub>）

# 日野町は 2050年度 までに カーボンニュートラル※<sup>1</sup>を目指します！

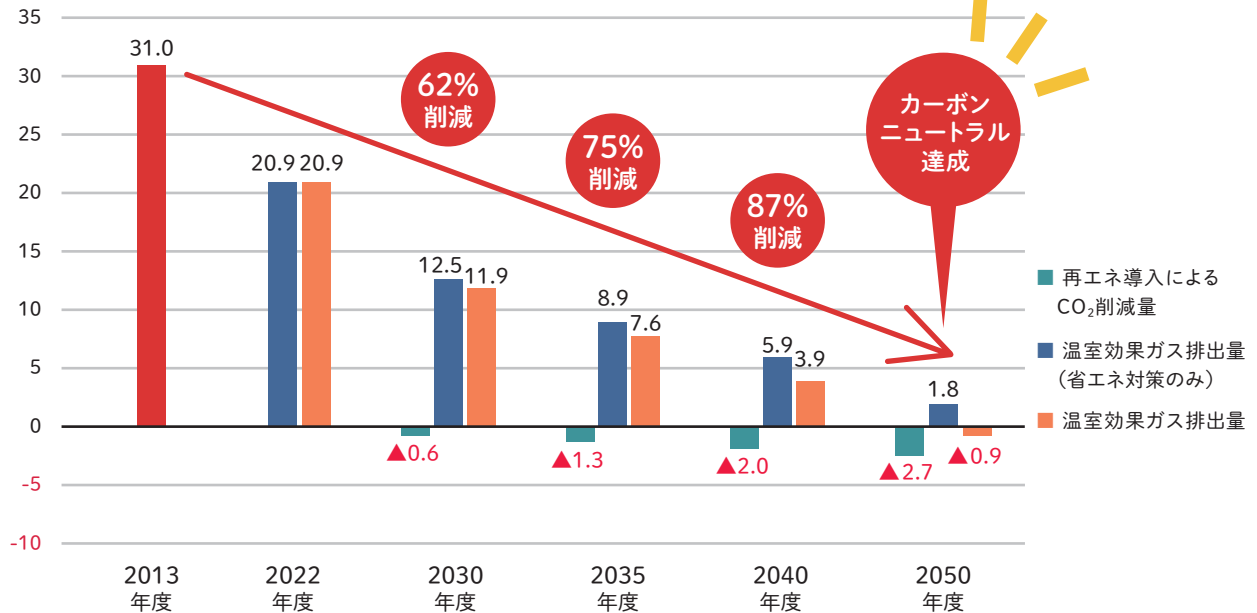
## 温室効果ガス 削減目標

2030年度… **62%** 削減  
2035年度… **75%** 削減  
2040年度… **87%** 削減

※いずれも2013年度比



【千t-CO<sub>2</sub>】



※森林吸収量は加味せず、省エネ対策と再生可能エネルギーの導入による推計です。

※森林吸収によるCO<sub>2</sub>吸収量を加味すると、現状の2022(令和4)年度時点でカーボンニュートラルを達成しています。

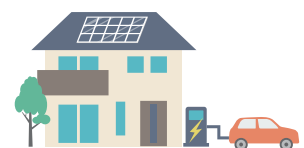
## 部門別 温室効果ガス削減目標

部 門	温室効果ガス排出量【千t-CO <sub>2</sub> 】					
	2013年度 (基準年度)	2022年度 (現況年度)	基準年度比 削減率	2030年度 (短期目標)	基準年度比 削減量	基準年度比 削減率
産業部門	6.9	3.9	▲43.7%	2.5	▲4.5	▲64.6%
業務その他部門	7.5	4.7	▲37.5%	2.5	▲5.0	▲66.8%
家庭部門	7.1	5.1	▲29.1%	3.3	▲3.8	▲53.7%
運輸部門	9.0	7.1	▲21.8%	3.5	▲5.5	▲61.2%
廃棄物分野(一般廃棄物)	0.4	0.2	▲51.1%	0.2	▲0.3	▲58.4%
合 計	31.0	20.9	▲32.6%	11.9	▲19.1	▲61.5%

## 再生可能エネルギー※<sup>2</sup> 導入目標

2030年度… **2.0倍** 導入  
2035年度… **2.8倍** 導入  
2040年度… **3.8倍** 導入  
2050年度… **4.8倍** 導入

※いずれも現状比



(※1) カーボンニュートラル：CO<sub>2</sub>などの温室効果ガスの排出量と吸収量が差し引きゼロとなっている状態のことです。温室効果ガスの排出削減を進めるとともに、排出量から森林などによる吸収量をオフセット(埋め合わせ)することなどにより達成を目指します。

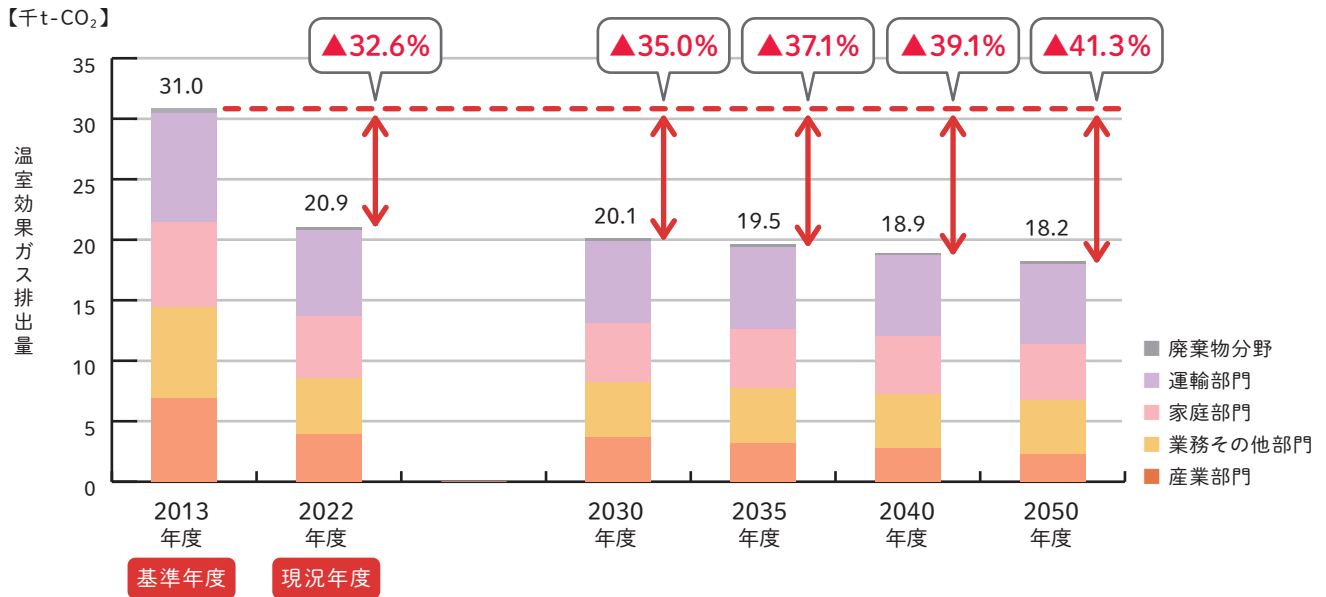
(※2) 再生可能エネルギー：太陽光・太陽熱・風力・地熱・バイオマスなど、エネルギー源の枯渇の心配がない自然エネルギーで、発電時や熱利用時にはCO<sub>2</sub>をほとんど排出しません。



## 現状すう勢シナリオによる温室効果ガス排出量

対策を追加的に  
行わなかった場合

今現在のまま、地球温暖化対策が追加的に何も行われないと仮定した場合の将来的な温室効果ガス排出量（現状すう勢シナリオ）は、2030（令和12）年度は20.1千t-CO<sub>2</sub>となり、基準年度比▲35.0%となります。（森林吸収量含まない）

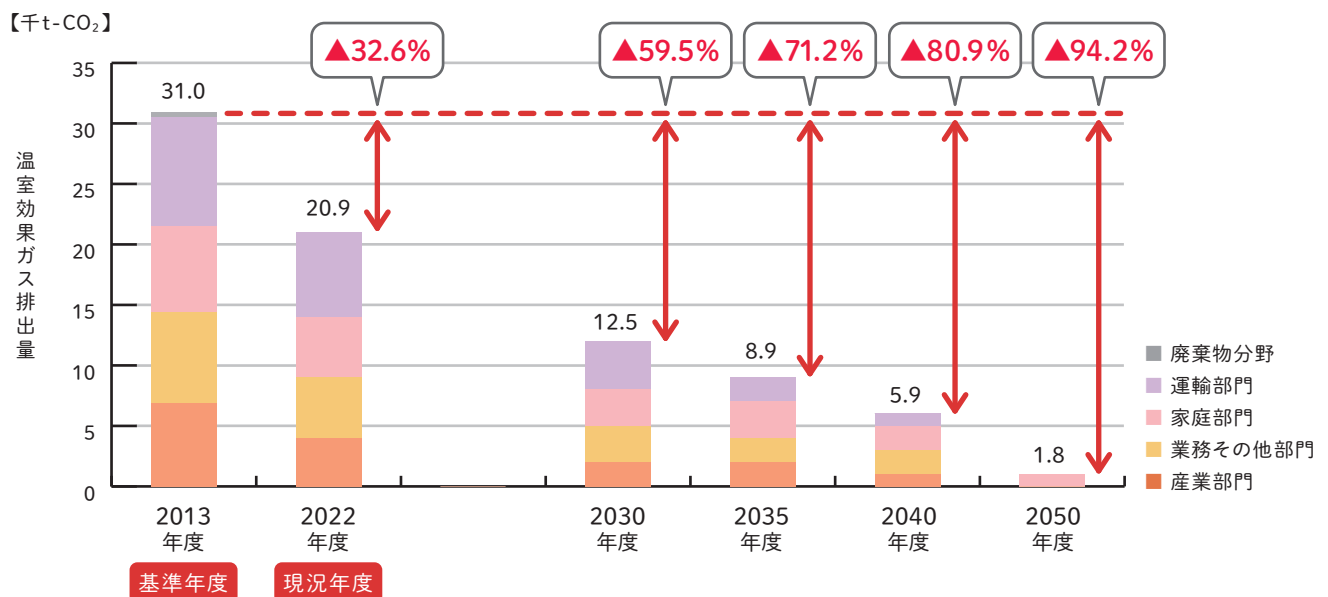


※上記グラフは、森林吸収量を加味していません。

## 脱炭素シナリオによる温室効果ガス排出量

省エネ対策を実施  
した場合

今後、省エネ対策を実施した場合の将来的な温室効果ガス排出量（脱炭素シナリオ）は、2030（令和12）年度は12.5千t-CO<sub>2</sub>となり、基準年度比▲59.5%となります。



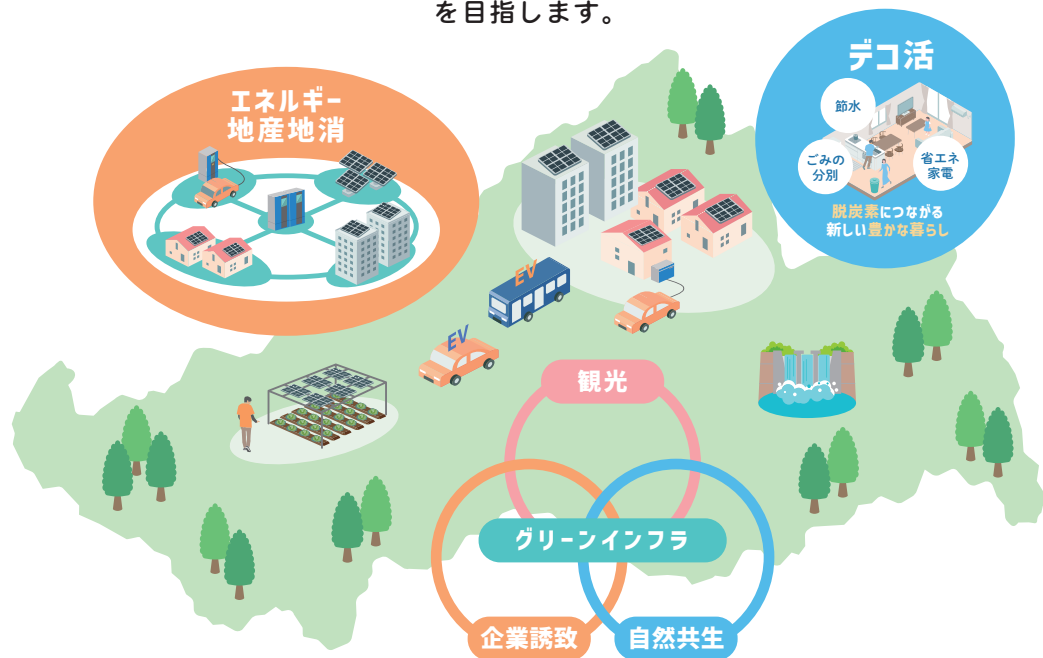
※上記グラフは、森林吸収量を加味していません。

2050年 日野町の将来

# 自然と共生する カーボン マイナス タウン ひの

～未来へつなぐ、持続可能な資源循環のまち～

本町の2050年の将来のすがたは、  
「第3次きらり日野町創生戦略」等に基づくとともに、  
「自然と共生するカーボン マイナス タウン ひの～未来へつなぐ、持続可能な資源循環のまち～」  
を目指します。



町民のデコ活※1の定着

環境に配慮したライフスタイル・ビジネススタイル

再生可能エネルギーの  
電力利用

再生可能エネルギーの利用による安心・安全なまち  
(強靱なまちづくり)

スマート林業やスマート農業※2  
(グリーンインフラ※3)

グリーンインフラの推進、スマート林業、スマート農業による  
一次産業の活性化

移動の低炭素化

車で移動する際には電気自動車などを利用

資源が循環するまち

ごみの減量・資源化によるクリーンで快適なまち

環境価値の創出

地域ブランドによる地域活性化

(※1) デコ活：政府が推進する「脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動」です(詳細は後述)。

(※2) スマート林業・農業：地理空間情報や通信技術の活用により生産性を向上させ、農作物や木材を効率的に安定供給させる農林業技術です。

(※3) グリーンインフラ：自然環境が有する機能を積極的に活用して地域の魅力・居住環境の向上や防災・減災等の多様な効果を得ようとするものです。

## 目標達成に向けた基本目標と取組

### 基本目標 1

#### みんなで取り組もう！

- ①「知る・学ぶ・行動」の3ステップを実践しましょう！
- ②日野町らしい里山里地を保全（グリーンインフラ）しましょう！
- ③「デコ活」に取り組みましょう！

### 基本目標 2

#### もっと省エネに取り組もう！

- ①省エネ家電・省エネ設備を選びましょう！
- ②省エネ住宅・建物を検討しましょう！
- ③脱炭素経営を考えましょう！

### 基本目標 3

#### エネルギーを創って 自分で使おう！

- ①再生可能エネルギーを導入しましょう！
- ②環境にやさしい電力を使いましょう！

### 基本目標 4

#### 健康に！ そしてクリーンに！

- ①エコドライブを実践しましょう！
- ②エコカー※4を買きましょう！
- ③公共交通機関を利用しましょう！

### 基本目標 5

#### きれいなまちで 快適に暮らそう！

- ①ごみを減らし、資源化しましょう！
- ②地域ブランドを創って、「まち」をアピールしましょう！



## 地域ブランドの創出（具体例）

### 太陽光発電

オシドリソーラー  
（仮称）



### バイオマス利用

オシドリバイオマス  
（仮称）



### 小水力発電

オシドリ hidroパワー  
（仮称）



（※4）エコカー：燃費がよく大気汚染物質の排出も少ない、環境性能に優れた自動車のことです。



\\ 私たちができる //

## 具体的な取組

※町民・事業者の具体的な  
取組内容より抜粋



### 基本目標1 みんなで取り組もう！

町民

事業者

#### (1) 「知る・学ぶ・行動」の3ステップを実践しましょう！

■ 出前講座に参加し、地球温暖化問題などを学びましょう。



■ 自社で地球温暖化対策に関する勉強会を開催しましょう。



#### (2) 日野町らしい里山里地を保全（グリーンインフラ）しましょう！

■ 町が実施する間伐※<sup>1</sup>体験等に参加しましょう。



■ 町産材を使用した家具・建具等を利活用しましょう。



■ ロボット技術やICT※<sup>2</sup>等を活用したスマート農林業を検討しましょう。



#### (3) 「デコ活」に取り組みましょう！

■ 「デコ活」に関する情報を「広報ひの」やホームページ、インターネット等で収集しましょう。



### 基本目標2 もっと省エネに取り組もう！

町民

事業者

#### (1) 省エネ家電・省エネ設備を選びましょう！

■ 「うちエコ診断※<sup>3</sup>」を受診しましょう。



■ 「省エネ最適化診断※<sup>4</sup>」を受診しましょう。



■ 家電を購入する際は「統一省エネラベル※<sup>5</sup>」を確認し、省エネ性能の高い製品の購入を検討しましょう。



■ 蛍光灯からLED照明への切り替えを進めましょう。



#### (2) 省エネ住宅・建物を検討しましょう！

■ 国や県、町の支援制度を活用し、省エネ住宅、省エネリフォーム、ZEHやZEB※<sup>6</sup>の導入を検討しましょう。



■ 遮熱対策（グリーンカーテン、ブラインド、庇、オーニングなど）を検討しましょう。



#### (3) 脱炭素経営※<sup>7</sup>を考えましょう！

■ 事業者向け脱炭素経営セミナー等に参加するなど、脱炭素経営に関する情報を収集しましょう。



■ CO<sub>2</sub>を「見える化」しましょう。



(※1) 間伐：樹木が混み合っているものの主伐までには至らない森林で、生育を促すために樹木を間引くことです。

(※2) ICT：情報・通信に関する技術の総称です。情報の収集・処理・管理・伝達を行うシステムで業務の効率化やコミュニケーションの向上を目指します。

(※3) うちエコ診断：住宅内の二酸化炭素排出状況を分析し、平均的な家庭と比較することで家のエコロジ度を判定する診断です。

(※4) 省エネ最適化診断：省エネ診断と再エネ提案によってエネルギー利用を最適化するサービスです。

(※5) 統一省エネラベル：省エネ法による省エネ基準に達成しているかどうかを示されたラベルで、省エネ性能が記載されています。

(※6) ZEH・ZEB：省エネ性能の向上と再生可能エネルギーの活用により、年間消費エネルギーの収支をゼロにすることを旨とした住宅や建物です。

(※7) 脱炭素経営：気候変動対策（＝脱炭素）の視点を織り込んだ企業経営のことです。





### 基本目標3 エネルギーを創って自分で使おう！

町民

事業者

#### (1) 再生可能エネルギーを導入しましょう！

■ 設置可能な住宅や建物（駐車場含む）へ太陽光発電設備の設置を検討しましょう。



■ 太陽光発電設備に加え、蓄電池の設置も検討しましょう。



■ 町や地元事業者が行う小水力発電に関する内容を理解し、協力しましょう。



#### (2) 環境にやさしい電力を使いましょう！

■ 環境によい電気（再生可能エネルギー由来の電力プラン等）を選びましょう。



### 基本目標4 健康に！そしてクリーンに！

町民

事業者

#### (1) エコドライブを実践しましょう！

■ 燃費を把握するなど、エコドライブ10※8を実践しましょう。



#### (2) エコカーを買いましょう！

■ 自動車を買換える際は、エコカーを選択しましょう。



#### (3) 公共交通機関を利用しましょう！

■ 交通教室に積極的に参加しましょう。



■ サイクル&ライド※9を活用し、公共交通機関を利用しましょう。



■ 通勤や買い物には鉄道・バスなどの公共交通機関を利用しましょう。



### 基本目標5 きれいなまちで快適に暮らそう！

町民

事業者

#### (1) ごみを減らし、資源化しましょう！

■ 食品ロス※10の削減に取り組みましょう。



■ ごみ収集カレンダーや決められたごみの出し方に沿って、ごみ出し・分別など行いましょう。



#### (2) 地域ブランドを創って「まち」をアピールしましょう！

■ 町が取り組む環境価値の創出事業を理解し、積極的に参加しましょう。



(※8) エコドライブ10：環境省による大気汚染対策の一環で、地球にやさしいエコな自動車運転方法（10種）を提唱した取組です。

(※9) サイクル&ライド：自宅から最寄駅や停留所まで自転車で行き、電車等の公共交通機関に乗り換える移動方法です。自動車の利用を減らすことで排気ガスに含まれるCO<sub>2</sub>の排出量を削減させる効果が期待できます。

(※10) 食品ロス：まだ食べられるにもかかわらず廃棄される食品のことです。飲食店や家庭での食べ残し、小売店での売れ残りなどがあります。



「デコ活」は環境省が推進する「脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動」の愛称です。

二酸化炭素を減らす「脱炭素（Decarbonization）」と環境に良い「エコ（Eco）」を組み合わせた言葉で、2050年カーボンニュートラルの実現に向けて、国民一人ひとりのライフスタイル変革を後押しするものです。

デコ活は環境にやさしいだけでなく、家計の節約にもつながります。

身近なところから少しずつ、まずはできることからはじめてみませんか。

環境省「脱炭素につながる新しい豊かな暮らしの10年後」より

取組内容	CO <sub>2</sub> 削減効果 (kg-CO <sub>2</sub> )	節約額(年間)
ZEH住宅の購入（省エネ住宅を購入）	2,551	152,000円
太陽光発電設備の設置	920	53,000円
省エネ性能の高い住宅への引っ越し	1,131	94,000円
高効率給湯器の導入	70~526	6,000～35,000円
断熱リフォーム（窓・サッシなど）	1,131	94,000円
節水（節水シャワー・節水型トイレなど）	105	16,000円
LED等高効率照明の導入	27(2台交換)	3,000円
クールビズ・ウォームビズ	41	4,000円
冷蔵庫の買い替え	108	11,000円
エアコンの買い替え	70	7,000円
HEMS※1やIoT※2家電の活用	88	9,000円
電力排出係数の改善（環境により電気を選ぶ）	777	—
電動車を選択	610	75,000円
公共交通機関の利用	35	—
テレワークにより、通勤に伴う移動を削減する	840	61,000円
エコドライブの実施	117	9,000円
近距離通勤は自転車・徒歩通勤	162	12,000円
買いすぎの防止等により、家庭からの食品ロスを削減する	5	9,000円
マイボトル、マイバッグの利用、分別などにより容器包装プラスチック等のごみを削減する	29	4,000円

（※1）HEMS：家庭でのエネルギー節約を目的とした管理システムです。家電機器や電気設備とつなぐことで電気・ガスの使用量をモニター等で見える化したり、機器を自動制御したりすることが可能です。

（※2）IoT：従来はインターネットに接続されていなかった様々なものがインターネットに接続され、相互に情報交換をする仕組みです。